

# 企業内で I T 活用を推進するために必要なマネジメント

## 人材育成上の課題・目標

- ・企業内の I T 化へ投資をする上で必要な要件について知りたい
- ・システム化の目的と要件の取りまとめ方を知りたい
- ・ソフトウェアの開発手法及び手順を知りたい
- ・システム開発及び運用に係る関連法規を知りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・自社のシステム化の目的と要件を定義できる
- ・自社のシステム化に向け費用や納期の検討ができる
- ・システム開発に必要な管理を理解する
- ・システム開発及びシステム監査・関連法規を理解する
- ・企業内での I T 活用を推進できる

## コースのねらい

生産性向上を目指した I T 活用に向け、費用や納期を検討し、情報システムの開発に関する管理及びシステム監査・関連法規を理解する。

## カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ システム化計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の情報戦略の策定</li> <li>・システム化計画の目的と要件定義</li> <li>・調達計画</li> </ul>
	■ 開発プロセス及び管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトウェア開発手法</li> <li>・プロジェクトマネジメント</li> <li>・サービスマネジメント</li> <li>・ファシリティマネジメント</li> </ul>
	■ システム監査・内部統制及び関連法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム監査</li> <li>・内部統制</li> <li>・知的財産権、労働関連法規、取引関連法規</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム化計画の目的と要件定義のまとめ方</li> <li>・各種システム開発のメリット・デメリットについて</li> <li>・プロジェクト管理の進め方</li> </ul>
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム化に対する費用対効果の取りまとめ</li> <li>・システム開発段階の監査の進め方</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層、管理者層

## 関連コース

- A 生産管理
    - ・在庫管理システムの導入
    - A 流通・物流
      - ・流通システム設計
      - ・物流システム設計
    - A バックオフィス
      - ・ I o T 活用によるビジネス展開
      - ・クラウドを活用したシステム導入
      - ・クラウドを活用した情報共有能力の拡充
      - ・テレワーク活用
      - ・テレワークを活用した業務効率化
      - ・ I T ツールを活用した業務改善
      - ・データ活用で進める業務連携
      - ・失敗しない社内システム導入
      - ・企業内で I T 活用を推進するために必要な技術理解
  - B 組織マネジメント
    - ・成果を上げる業務改善
    - ・ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善
- ほか

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。